



T.Miki

THE COPA REPUBLICA ARGENTINA

第63回 アルゼンチン共和国杯 (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 57,000,000円 23,000,000円 14,000,000円 8,600,000円 5,700,000円
付加賞 1,274,000円 364,000円 182,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

3歳以上、2024.11.2以降2025.11.2まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

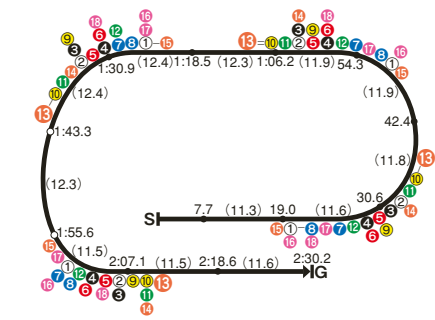
2025.11.9 東京 豊・良 芝2500m (国産) (特招)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑬	ミステリーウェイ	騾	7	56	松本大輝	2:30.2	1-1-1-1	34.6	500(-2)	27.7⑨	小林真也(栗東)	107
2	⑩	スティンガーグラス	牡	4	57	C.ルメール	1/2	14-9-9-8	34.2	474(-8)	3.4①	木村哲也(美浦)	108
3	⑤	ティマイザキッド	牡	4	56	岩田望来	アタマ	9-9-9-10	34.1	464(±0)	5.4③	清水英克(美浦)	106
4	⑥	セレシオン	牡	6	57	荻野 極	1/2	7-7-8-8	34.3	470(-2)	25.2⑧	友道康夫(栗東)	107
5	⑦	シュトルーヴェ	騾	6	59	鮫島克駿	クビ	12-13-12-14	34.0	480(+2)	12.0⑥	堀 宣行(美浦)	
6	⑪	ホーエリート	牝	4	55.5	戸崎圭太	ハナ	3-3-3-2	34.7	482(+10)	4.2②	田島俊明(美浦)	
7	⑩	マイネルカンパニー	牡	5	56	津村明秀	アタマ	2-2-2-2	34.7	412(+6)	30.7⑩	青木孝文(美浦)	
8	⑩	ボーンディスウェイ	牡	6	57	木幡巧也	クビ	14-15-14-12	34.1	496(±0)	41.0⑫	牧 光二(美浦)	
9	⑨	ニシノレヴナント	騾	5	56.5	野中悠太郎	クビ	16-16-15-14	34.0	486(+6)	15.6⑦	上原博之(美浦)	
10	⑫	ブラダリア	牡	6	58	亀田温心	1/2	11-12-12-12	34.3	468(±0)	58.1⑭	池添 学(栗東)	
11	⑭	ボルドッグフーシュ	牡	6	58	横山武史	クビ	4-4-4-2	34.9	510(±0)	10.9④	宮本 博(栗東)	
12	③	ローシャムパーク	牡	6	59.5	A.ブッシュン	クビ	6-4-5-6	34.6	502(+4)	11.4⑤	田中博康(美浦)	
13	⑦	ハギノアルデバラン	牡	5	52	原 優介	クビ	13-14-15-17	34.1	502(±0)	36.8⑪	佐藤悠太(栗東)	
14	④	サスツルギ	騾	5	54	北村宏司	1/2	9-9-9-10	34.6	484(+10)	190.2⑮	千葉直人(美浦)	
15	①	ワイドエンペラー	牡	7	55	藤岡佑介	ハナ	16-16-15-14	34.3	496(±0)	52.7⑩	藤岡健一(栗東)	
16	⑤	メイショウブレゲ	牡	6	55	石橋 脩	1/4	18-18-18-18	34.3	470(-4)	192.3⑰	本田 優(栗東)	
17	⑨	ショウナンアディブ	牡	6	55	池添謙一	4	7-7-5-5	36.0	506(-10)	177.1⑱	高野友和(栗東)	
18	②	ギャラクシーナイト	牡	6	54	菅原明良	3	4-4-5-6	36.4	510(+2)	193.9⑱	菊沢隆徳(美浦)	

単勝⑬2,770円(9[△]△) 複勝⑩550円(10[△]△) ⑩180円(2[△]△) ⑥200円(3[△]△) 枠連⑦-⑩1,120円(4[△]△)

馬連⑬-⑩7,050円(25[△]△) ワイド⑬-⑩2,260円(28[△]△) ⑥-⑬2,440円(32[△]△) ⑥-⑩680円(3[△]△)

馬単⑬-⑩16,850円(62[△]△) 3連複⑥-⑬-⑩11,560円(34[△]△) 3連単⑬-⑩-⑥101,470円(323[△]△)



通過タイム : 700m 900m 1100m 上り : 800m 600m
42.4 - 54.3 - 1:06.2 46.9 - 34.6

アラカルト

- ・松本大輝騎手はJRA重賞初勝利
- ・小林真也調教師はアルゼンチン共和国杯初勝利。JRA重賞は25年初勝利、通算2勝目
- ・ジャスタウェイ産駒はJRA重賞通算11勝目
- ・7歳馬の勝利は初
- ・驕馬の勝利は初

ミステリーウェイ *Mystery Way*

騏 黒鹿毛 2018.3.12生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・宥社台レースホース 栗東・小林真也厩舎
馬名意味・神秘的な道

ジブシーハイウェイIRE系 F7-a

ジャスタウェイ 鹿毛 2009	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA アイリッシュダンス
	シビル 鹿毛 1999	Wild Again シャロンUSA
ジブシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	High Chaparral 鹿毛 1999	Sadler's Wells Kasora
	Rose Gypsy 鹿毛 1998	Green Desert Krisalya

5代までのインブリード：Northern Dancer M4×M5
Kris M4×M5 Nearctic S5×M5

INTERVIEW

石井猛 社馬調教主任(社台ファーム)

本当に力をつけているのだと思います

夏前から千歳で調整し、今夏は札幌競馬場に入厩して10日で丹頂Sを勝ち、我々としてもずいぶん自信となる成果を得ることができました。今回も強敵相手に自分のレースに徹して勝ち切ってくれたのですから、本当に力をつけているのだと思います。松本騎手がこの馬の実力を疑うことなく乗ってくれたことが何より嬉しかったですし、心強かったです。

K. Kamite



外めの枠7枠13番を引いたものの、
スタートを決めて軽快に飛び出したミステリーウェイと松本大輝騎手のコンビがスナナリと先制。ペースをあまり緩めずに風を切った逃げ馬と、2番手以下の各馬の差は次第に広がり、大逃の形勢でレースは進む。3番手につけたホーエリートに対し、ステインガークラスは序盤の後方から徐々に位置を上げ、中国を追走。デイマイザキッドはその直後で末脚を温存した。
4コーナーに差し掛かると、徐々に差を詰めてきた後続が背後に接近。しかし向正面半ばからペースを落とし、息を入れたミステリーウェイにはまだ十分な余力が残っていた。直線の坂下、松本騎手が満を持して追い出すと、並ばれた好位勢を突き放して再びリードを開き、坂上からもうひと踏ん張り。ステインガークラス、デイマイザキッドの反撃を封じてそのまま押し切った。未勝利戦を勝ち上がった後、1勝クラスを通過するまで15戦かかったように、条件戦で長い足踏みが続いた本馬。それでも7歳3月に3勝クラスを卒業すると、松本騎手と初コンビを組んだ前走の丹頂Sも大逃げの戦法で快勝。昇級2戦目でオープン初勝利を挙げた。弾みをつけて重賞に挑んだこの日も、ゆっくりと力をつけてきた歩みにも重なる「二枚腰」を発揮して連勝。絶妙なペース配分で勝利に導いたデビュー5年目の松本騎手と人馬揃って、初の勲章を手中に収めた。

父ジャスタウェイ

北海道浦河町 宥社台コーポレーション白老ファーム生産 中央、首、仏22戦6勝(天皇賞(秋)^{G1}、ドバイデューティフリー・首^{G1}、安田記念^{G1}、中山記念^{G2}、アーリントンC^{G3}、ジャパンC^{G1}2着)、最優秀4歳以上牡馬、15年から供用〔代表産駒〕**ダノンザキッド**(ホープフルS^{G1})、**テオレマ**(JBCレディスクラシックJ^{G1})、**ミステリーウェイ**(本馬)、**ガストリック**(東京スポーツ杯2歳S^{G2})、**エーボス**(フィリーズレビュー^{G2})、**マスターフェンサー**(名古屋グランプリJ^{G2})、**ヴェルテックス**(名古屋グランプリJ^{G2})、**ヤマニンウルス**(東海S^{G3})、**アドマイヤジャスタ**(函館記念^{G3})、**アウィルアウェイ**(シルクロードS^{G3})、**ロードマイウェイ**(チャレンジC^{G3})、**コレベティール**(京都金杯^{G3})、**ヴェロックス**(若葉S・L、若駒S・L、皐月賞^{G1}2着、日本ダービー^{G1}3着)、**アールリングウェイ**(エルフィンS・L)、**カリボール**(パラダイスS・L)、**ハーバック**(オーロC・L)、**ボッドボレット**(すみれS・L)

母ジブシーハイウェイIRE

仏13戦2勝(ミエスク賞^{G3}2着、リュートアンシャンテ賞・仏L3着)13年輸入モンテエイン(14 牝父ダイワメジャー)中央3戦0勝
アマルフィコースト(15 牝父ダイワメジャー)中央23戦2勝(中京2歳S^O、阪神牝馬S^{G2}2着、京都牝馬S^{G3}3着、ファンタジーS^{G3}3着、ポートアイランドS・L3着)
コルデトゥリーニ(16 牝父ダイワメジャー)中央5戦1勝
コースタルチャート(17 牝父シルバーク)中央6戦0勝、地方58戦2勝
ミステリーウェイ 本馬(18 騏父ジャスタウェイ)中央36戦6勝(アルゼンチン共和国杯^{G2}、丹頂S^O、御堂筋S、札幌日刊スポーツ杯)獲得総賞金190,668,000円
(19 牝父ハーツクライ)
イティネラートル(20 牝父ギズナ)中央17戦3勝(舞子特別、りんどう賞)ディーガレジェンド(21 牝父モーリス)中央14戦2勝 ⑨
(22 不受胎)
レフィノス(23 牝父ジャスタウェイ)⑩
(24 牝父エビファネイア)
(25 牝父ギズナ)
祖母ローズジブシーGB
愛、英、仏2勝(仏1000ギニー^{G1}、アサシS・愛L2着、ラウンドタワーS・愛L3着)、08年輸入、18年用途変更、チャイニーズマンダリン Chinese Mandarin(スカンジナビアオープンチャンピオンシップ・デンマーク^{G3})の母

7歳騏馬が「二枚腰」を発揮し重賞初制覇

トップハンデ69・5キを課されたローシヤムパークをはじめとする実績上位馬を従え、アルゼンチン共和国杯は重賞未勝利の4歳馬3頭が中心勢力を形成。7月の札幌日経賞でオープン初勝利を挙げたステインガークラスが頭ひとつ抜けた支持を集め、同舞台の目黒記念でクビ差の2着に食い下がった紅一点のホーエリート、函館記念4着、毎日王冠も4着とタイトルを射程に収めるデイマイザキッドがこれに続いた。とはいえ、勝利を飾ったのは9番人気の伏兵。7歳騏馬のミステリーウェイがしぶとい粘り腰を印象付けて逃げ切った。